

□ 要請番号 (JL05125B29)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-------------|---------------|--------------|------|----|------|----------------------------------|
| バングラデ シュ | G122 バスケットボール | 20~45 歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | ・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

青年スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

国立スポーツ学院

3) 任地（ダッカ県サバール郡）JICA事務所の所在地（ダッカ県北ダッカ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1986年に設立されたバングラデシュ国内の優秀なスポーツ人材を育成する機関。ダッカ本校のほか、チッタゴンやシレット、クルナ等にも拠点を構え、主に8~20歳の生徒に対し、様々な競技種目における専門的な指導を提供している。また、小・中・高に相当する一般教育も展開されている。ダッカには約1,000名の生徒が在籍中。全寮制であり、全生徒が敷地内にある寮で生活している。これまで、28名のJICA海外協力隊が派遣されているほか、外国人コーチも積極的に採用しており、2025年8月現在、アイルランド、韓国人コーチが在籍中。

[国立スポーツ学院HP](#)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

バングラデシュにおいて、バスケットボールはクリケットやサッカー程の人気はないものの、2013年の南アジア選手権で優勝を果たす等、徐々に国内での注目度は増している。配属先においても、選手の育成に取り組んでおり、これまで米国から短期コーチを招聘したほか、JICA海外協力隊が4名派遣されている。他方、現在外国人コーチは在籍しておらず、トレーニングはバングラデシュ人コーチのみによって実施されている。そのため、配属先は外国人コーチの受け入れを通じて、トレーニングを活性化させ、国際基準の選手育成を促進したいと考えており、再度協力隊の派遣要請がなされた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と協力し、以下のいずれかの活動を実施。

- バスケットボールコースに所属する生徒に対する技術指導およびフィジカルトレーニングに関する助言。
- 生徒や同僚に対する最新の練習方法や戦術の紹介および導入支援。
- スポーツ指導を通じた礼儀やマナーの定着、人間性の向上支援。
- トレーニングマニュアルの開発および定着促進。
- 対外試合等の企画・立案や実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

バスケットコート2面(屋内、半屋内各1面)、各種練習用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

バスケットボールコーチ3名 男性 指導経験 1~17年
バスケットボールコース選択生徒 男子約40名 16~18歳

5) 活動使用言語

ベンガル語

6) 生活使用言語

ベンガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]： (JBA公認コーチライセンス)

[学歴]： () 備考：

[性別]： () 備考：

[経験]： (競技経験) 5年以上 備考：専門的な指導を行うため
(指導経験) 2年以上 備考：同僚への指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯モンスーン気候) 気温： (15~40°C位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (安定)

【特記事項】

- ・住居は配属先敷地内にある寮となる予定。